大木地区まちづくり方針（案）～大木地区のまちづくり構想図～

■地区のキャッチフレーズ

1 『みんなが次世代にわたっていきいきと生活できる にぎわいのあるまち　おおぎ』

大木町にかつてあった地場産業の織物工場は年々少なくなりつつある。また、少子高齢化とともに今後空き家の増加や後継者不足も懸念されることから、今後は工場跡や空き家、農地や町内の豊かな自然などを活かして、工業、農業、観光業等を活性化し、大木町や他地域の家族が永続的に働き交流できるようなにぎわいのあるまちをつくりたい。なかでも、鍛冶屋線跡は、地域へのアクセス性の向上や活性化を図るために活用していきたい。

2 『顔が見える　住み良い安全安心のまち　おおぎ』

大木町は三世代の家族が多く、人と人とのつながりや人情味が豊かなまちであることから、大木町が持つ地域の力（コミュニティ）を活かしたまちづくりとあわせて、災害に強いまちづくりを行いたい。また、ハード面の防災・減災に取り組み、次世代や他地域の家族が住みたいと思う、安全安心のまちをつくりたい。

3 『自然や田園風景、文化が継承される美しいまち　おおぎ』

大木町は東西の山に囲まれるとともに、町内を南北に河川が流れ、豊かな田園風景が広がる自然豊かなまちである。また、地場産業ののこぎり屋根の風景は今も残っており、今後も自然の風景とともに残していきたい。また、町内の神社などで行われる行事を含めた地域の文化を次世代に継承していけるまちをつくりたい。

■まちづくりのキーワード

多世代のにぎわい　　安心安全のまち　　自然・景観・文化の継承

■まちづくりのビジョン

豊かな自然・文化・景観を次世代に継承し、
みんながいきいきと暮らせるまち　おおぎ